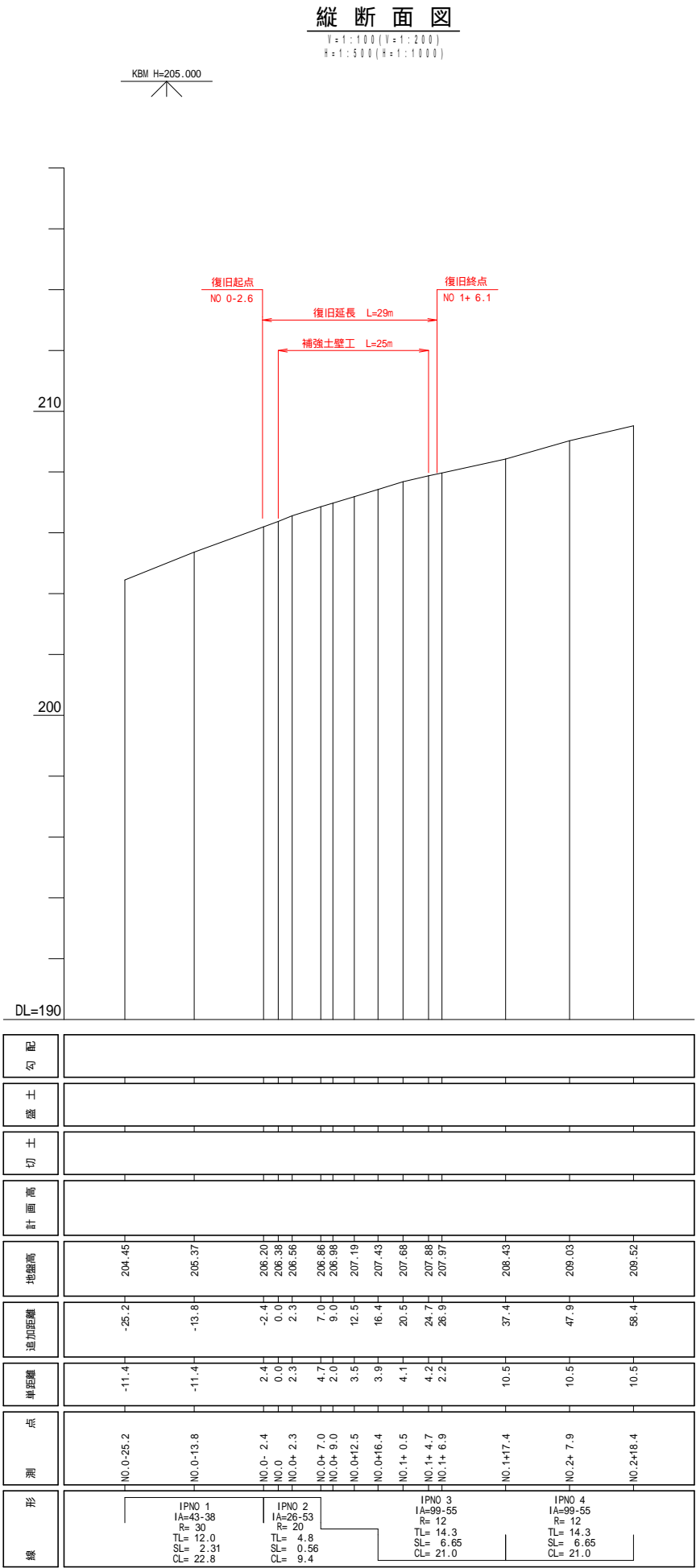
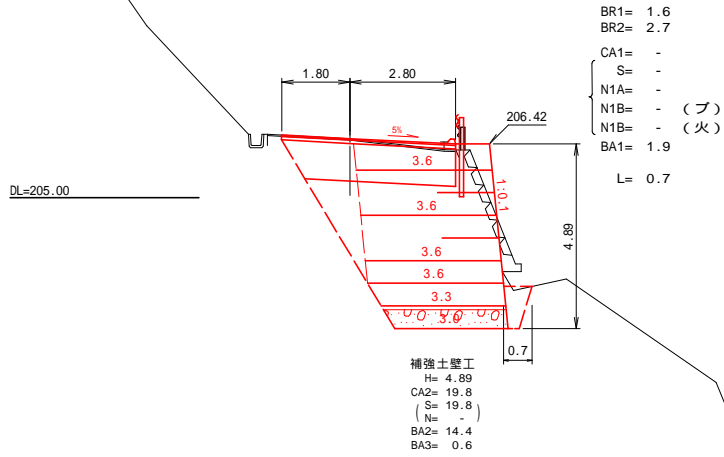


曲線表											
IP	DA	A	IA	R	TL	SL	CL	BC	MC	EC	IP間
1	210-12	223-38	43-48	30.0	12.0	2.31	22.8	NO 0 - 25.2	NO 0 - 13.8	NO 0 - 2.4	16.8 28.5 28.6
2	237-05	206-53	26-53	20.0	4.8	0.56	9.4	NO 0 - 2.4	NO 0 + 2.3	NO 0 + 7.0	
3	137-10	80-05	99-55	12.0	14.3	6.65	21.0	NO 0 + 16.4	NO 1 + 6.9	NO 1 + 17.4	
4	37-15	80-05	99-55	12.0	14.3	6.65	21.0	NO 1 + 17.4	NO 2 + 7.9	NO 2 + 18.4	

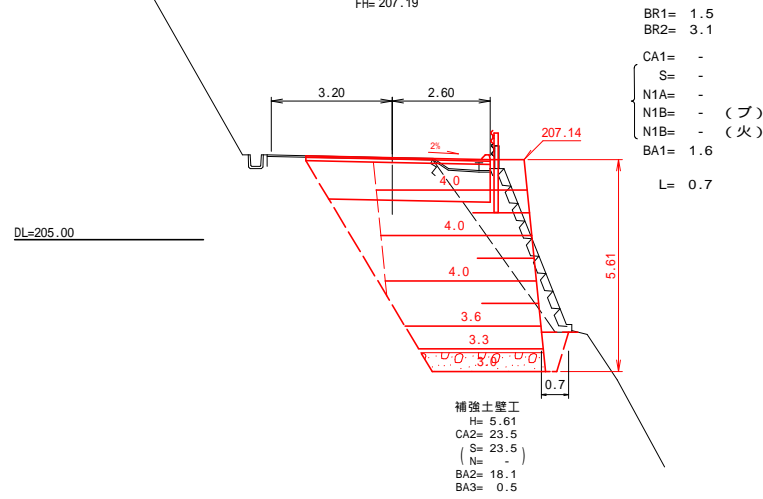


路線名	谷倉線 (1号箇所)	工事名	令和7年災林地道谷倉線 (1号箇所)災害復旧工事
林道区分	森林管理道	級別区分	2級
年度	令和7年度	施行主体	設計速度 20 Km/h
名称	令和7年度	施行主体	藤枝市
施行地	藤枝市 岡部町 玉取 地内	縮尺	図示 (括弧内A3)
縮尺	図示 (括弧内A3)	審査者	設計者

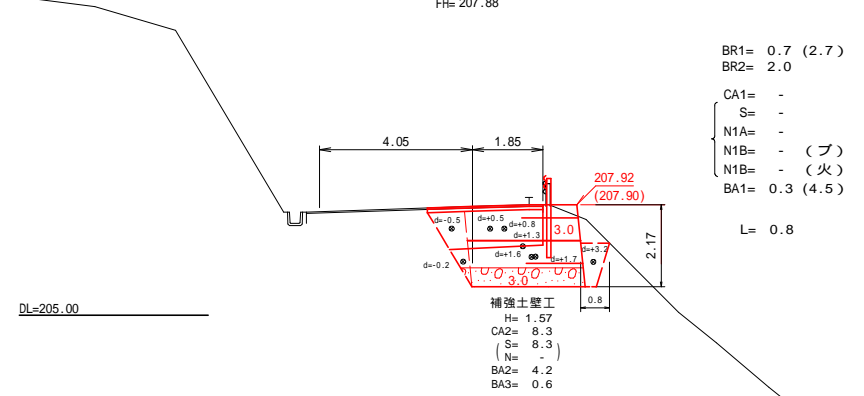
NO 0+ 2.3(MC2)
GH= 206.56
FH= 206.56



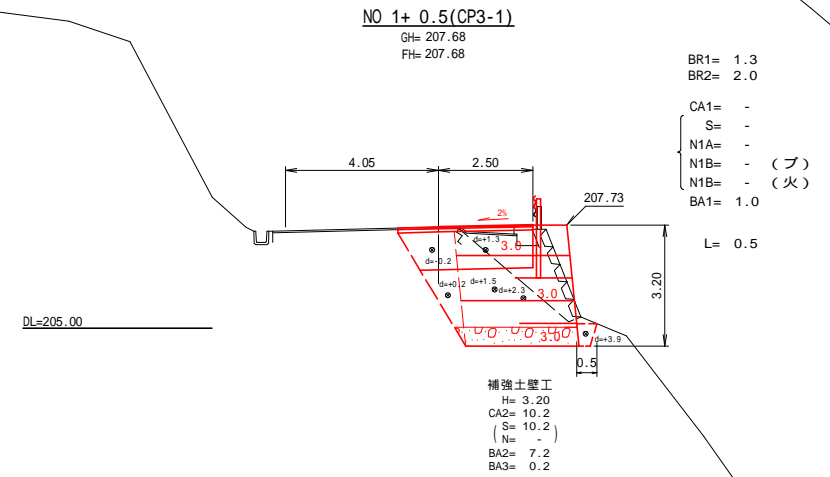
NO 0+12.5
GH= 207.19
FH= 207.19



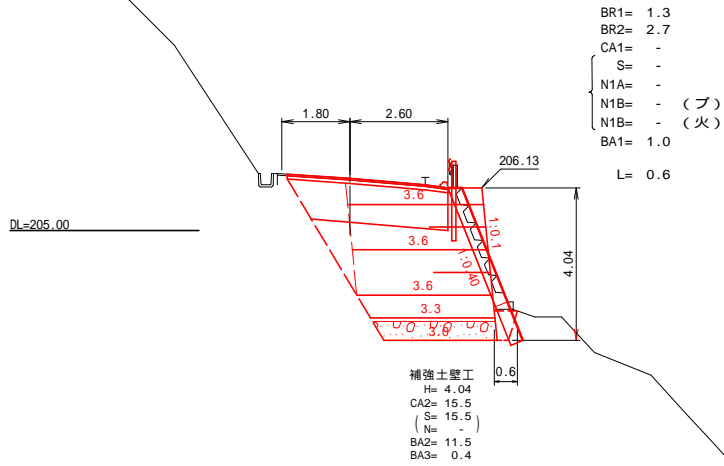
【NO 1+ 4.3】NO 1+ 4.7(CP3-2)
GH= 207.88
FH= 207.88



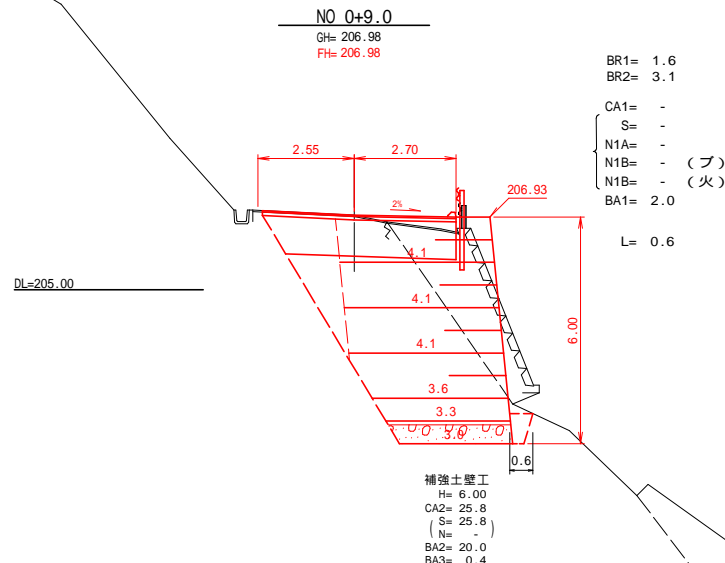
NO 1+ 0.5(CP3-1)
GH= 207.68
FH= 207.68



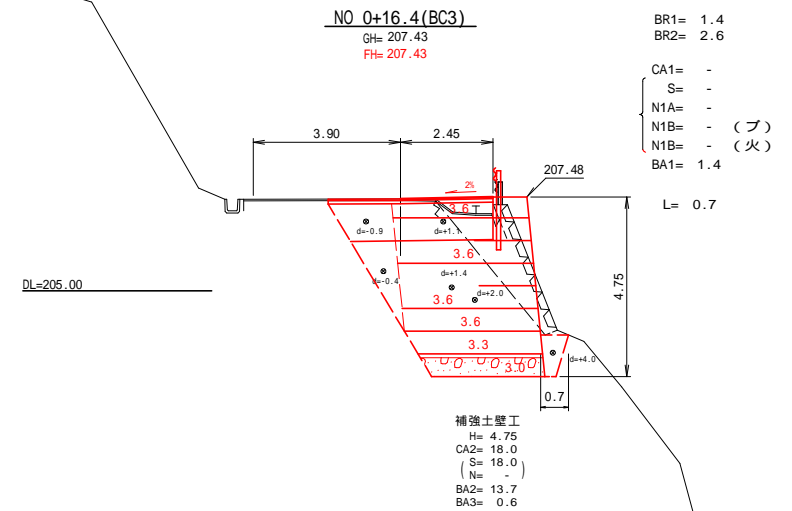
NO 0(CP2) 【NO 0+0.3】
GH= 206.38
FH= 206.38



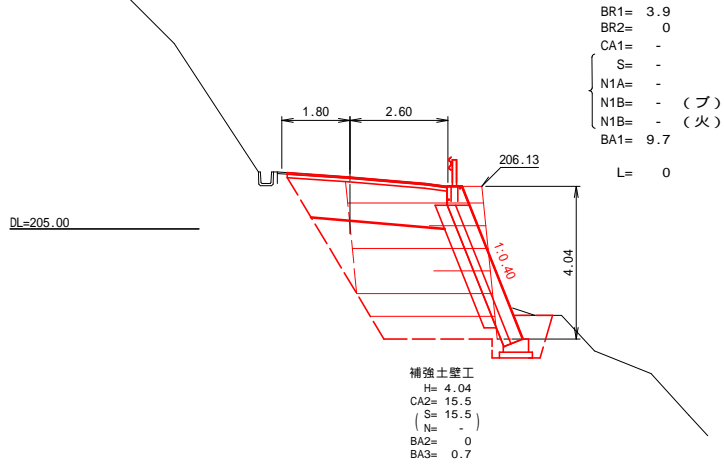
NO 0+9.0
GH= 206.98
FH= 206.98



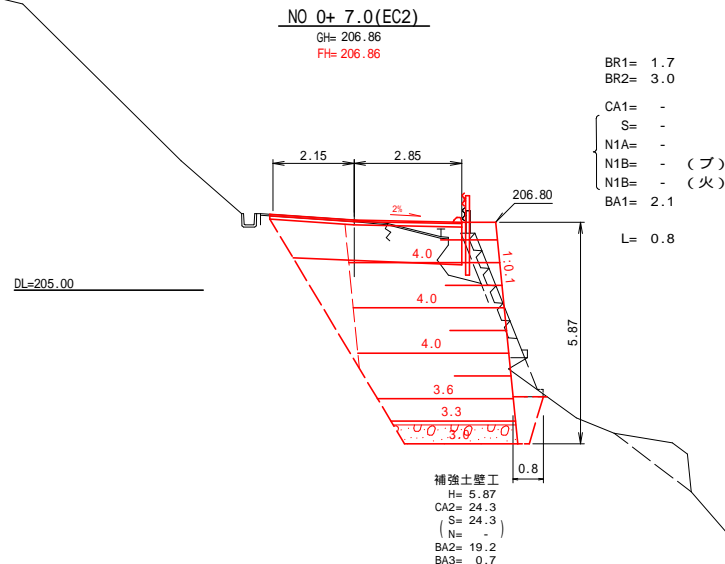
NO 0+16.4(BC3)
GH= 207.43
FH= 207.43



~ NO 0
GH= 206.38
FH= 206.38



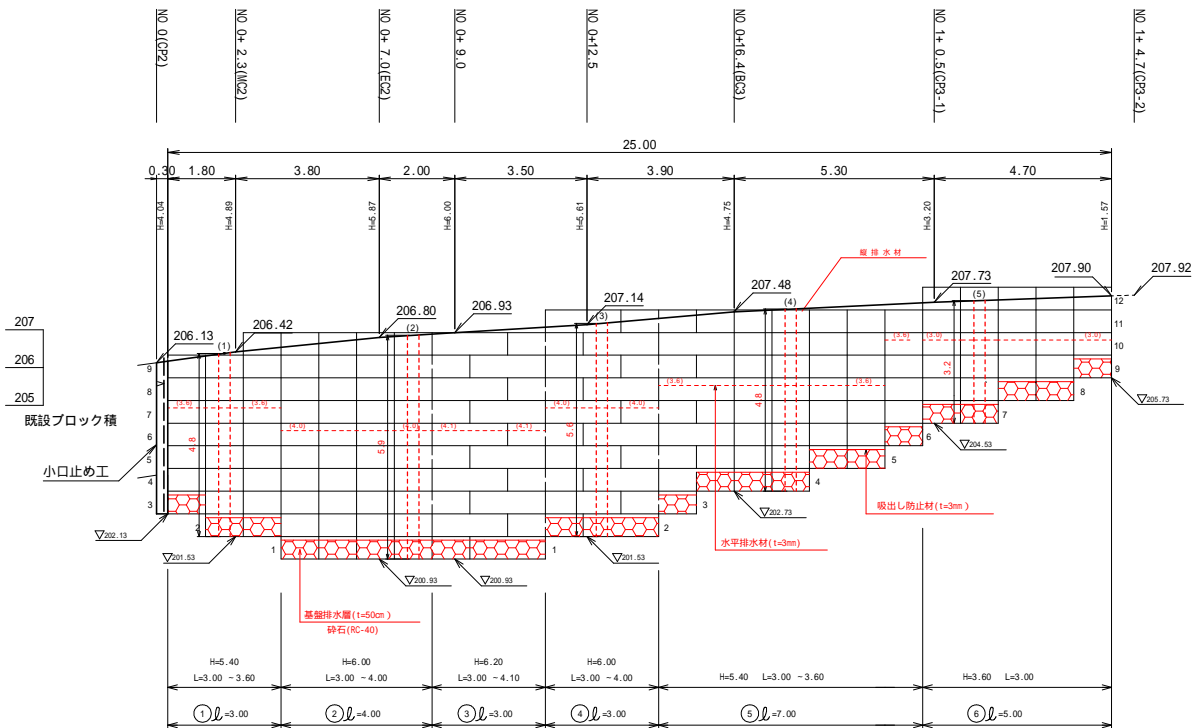
NO 0+ 7.0(EC2)
GH= 206.86
FH= 206.86



路線名	谷 倉 線 (1号箇所)		工事名	令和7年災林地道谷倉線 (1号箇所) 災害復旧工事	
林道区分	森林管理道	級別区分	2 級	設計速度	20 Km/h
年 度	令和7年度		施行主体	藤 枝 市	
名 称	横 断 面 図 6 葉 中 2 番				
施行地	藤 枝 市 岡 部 町 玉 取 地 内				
縮 尺	1:100 (A3=1:200)	審 査 者		設 計 者	








S=1 : 100

排水計画図



H=6.00m 区間



凡 例		
名 称	記 号	備 考
鋼製推壁材(標準品)		2 000 × 600
鋼製推壁材(半尺品)		1 000 × 600
壁面材施工段(層)	1	
補強材(テラス・RC・40)		
補強材(テラス・RC・55)		
壁面強化材(RC-1)		
工区(ブロック)番号		
工区(ブロック)境界		
補強土盛 高	H =	
補強材敷設長	L =	
工 区 長	ℓ =	
水平排水材	-----	
縦排水材		

補強土壁構造物設計条件

盛土材の条件		$\approx 18\text{KN/m}^3 \cdot c = 0\text{KN/m}^2 \cdot \approx 35^\circ$	
設計水平震度	内的安定及び外的安定検討時	$K_0 = 0.12$	
	全体安定検討時	$K_0 = 0.08$	
安全率の種類		常時	地震時
引抜きに対する安全率		2.0	1.2
転倒に対する安全率		L/6	L/3
滑動に対する安全率		1.5	1.2
支持力に対する安全率		3.0	2.0
全体安定・円弧すべりに対する安全率		1.20	1.0

(施工上の注意点)

- ・使用盛土材料が適用範囲外となる場合は、設計条件の見直しや、土質安定処理などの対策方法を踏まえ、別途協議を行う。
- ・地山及び掘削面に異常な湧水が見受けられる場合は、別途協議し、排水対策を行うこと。

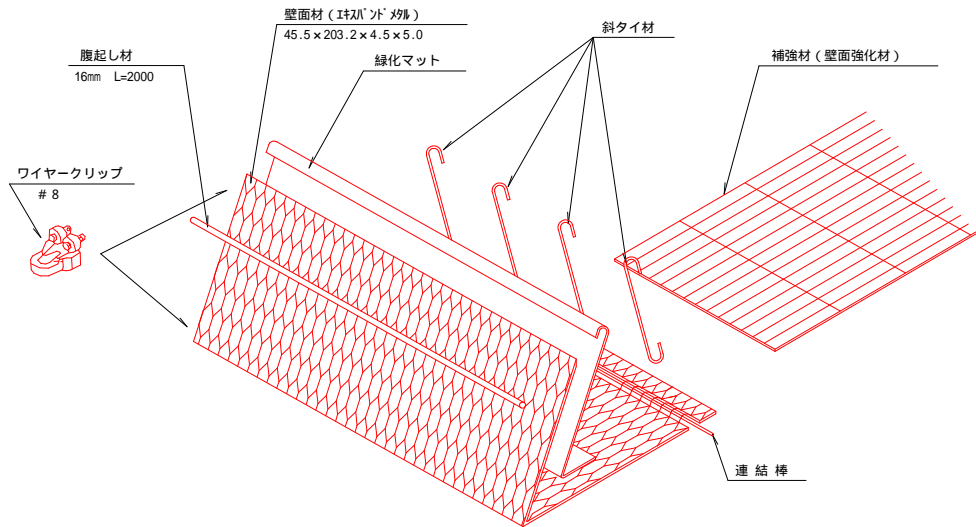
数量表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
鋼 製 掘 壁 材	E X C /パネル(1:0.1)	m ²	121.8	
"	E X C /パネル L=2000	組	39.0	H=600
"	E X C /パネル L=1000	組	125.0	H=600
連 結 材	H D P E L=1000	本	17.0	ロール数
緊 張 杭	D10 L=300	本	400.0	2本/敷設枚数
固 定 杭	D10 L=300	本	328.0	2本/1ユニット
側 面 板	L=910 H=610	組	7.0	小口止
補 強 材	テンサー RE - 40	m ²	348.3	
"	テンサー RE - 55	m ²	99.0	
壁 面 強 化 材	テンサー RE - 1	m ²	108.0	
水 平 排 水 材	長繊維系(スパンボンド不織維)	m ²	91.3	t=3mm
縦 排 水 材	水平・背面排水材(板状)	m	28.4	幅300mm 厚さ10mm 全透水型
吸 出し 防 止 材	長繊維系(スパンボンド不織維)	m ²	81.6	t=3mm
基 盤 排 水 層	RC-40	m ³	49.4	

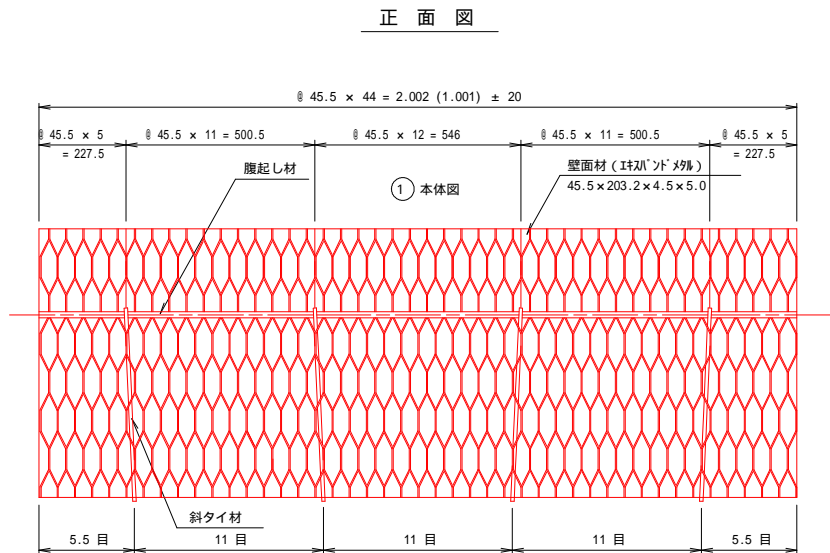
路線名	谷倉線 (1号箇所)	工事名	令和7年度災林道谷倉線 (1号箇所)災害復旧工事		
林道区分	森林管理道	級別区分	2級	設計速度	20 Km/h
年度	令和7年度	施行主体	藤枝市		
名称	補強土壁工展開図		6葉中 3番		
施行地	藤枝市 岡部町 玉取 地内				
縮尺	1:100 (A3=1:200)	審査者	設計者		

補強土壁工構造詳細図

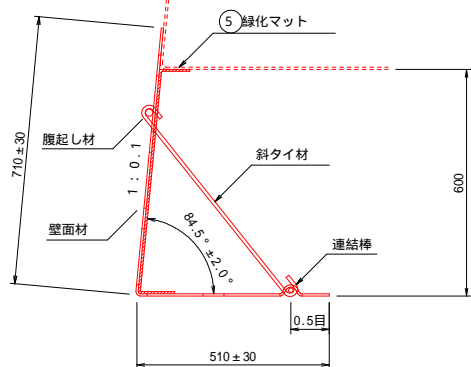
鋼製壁面材構成図



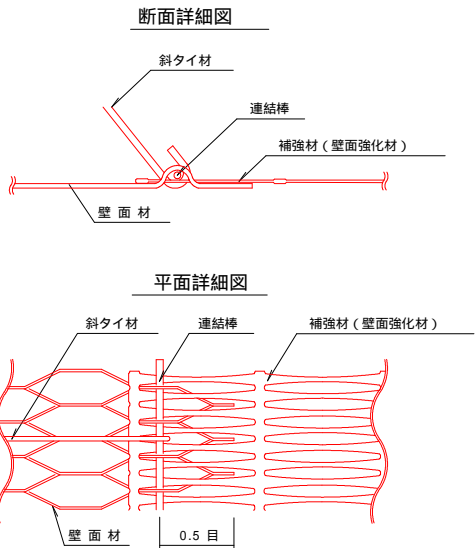
鋼製壁面材詳細図



断面図

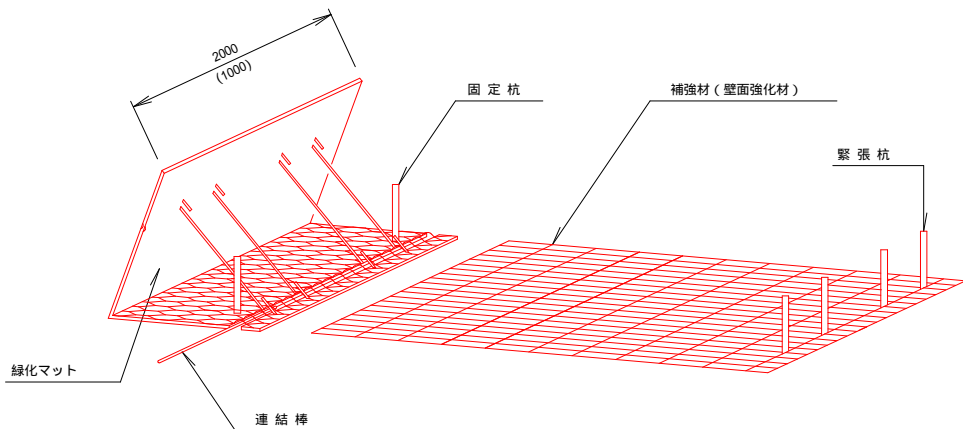


連結部詳細図

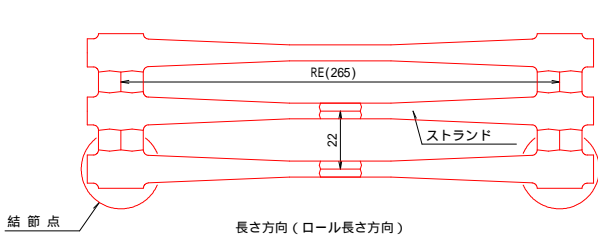


No	品名	材質	数	備考
①	本体（壁面材）	溶融亜鉛メッキ SPHC	1	2mユニット (1mユニット)
②	腹起し材	溶融亜鉛メッキ SR235、SS400	1	2mユニット (1mユニット)
③	斜タイ材	溶融亜鉛メッキ SR235、SS400	4 (2)	2mユニット (1mユニット)
④	連結棒	溶融亜鉛メッキ SR235、SS400	2 (1)	2mユニット (1mユニット)
⑤	緑化マット	ポリエチレン	1	2mユニット (1mユニット)
⑥	ワイヤークリップ	可鍛鉄	2	#8

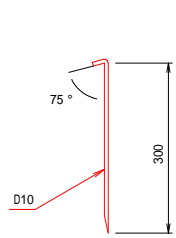
補強材（壁面強化材）敷設詳細図



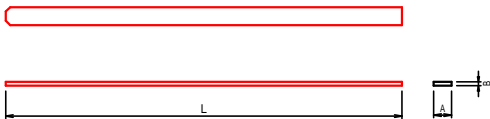
補強材（壁面強化材）詳細図



緊張杭・固定杭

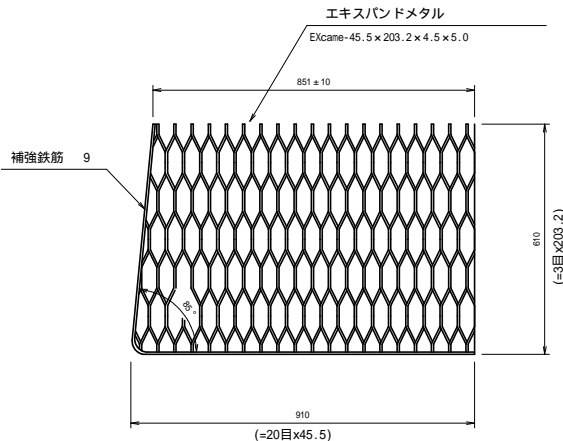


テンサー連結材 製品図
S=1:10



項目	規格寸法 (mm)
一般形状	L A B
主原料	1000±10 45±2.0 5.0±1.0
備考	高密度ポリエチレン 上記、規格寸法は、室温20℃雰囲気内での測定結果です。

側面板



SPHC，溶融亜鉛メッキ品。
緑化マットを取り付けて下さい。
側面2ヶ所 下面2ヶ所を
ワイヤークリップで
本体Excameと固定します。

路線名	谷倉線 (1号箇所)	工事名	令和7年災林道谷倉線 (1号箇所)災害復旧工事
林道区分	森林管理道	級別区分	2級
年度	令和7年度	施行主体	藤枝市
名称	補強土壁工構造詳細図	6葉中	4番
施行地	藤枝市 岡部町 玉取 地内		
縮尺	1:100 (A3=1:200)	審査者	設計者

取壊しブロック積展開図

S=1:100 (A3=1:200)

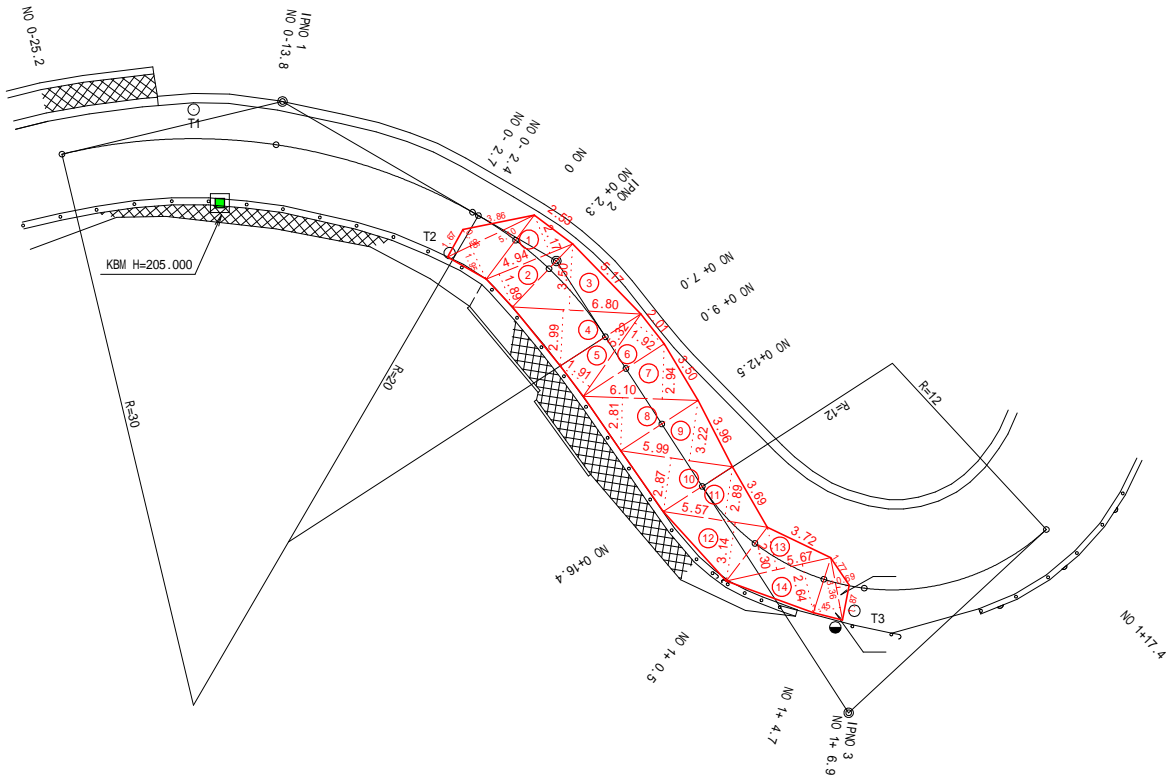


符号	底辺	高さ	倍面積
1	3.87	1.76	6.81
2	3.87	1.76	6.81
3	5.00	2.47	12.35
4	5.00	2.53	12.65
5	3.35	0.40	1.34
6	3.35	0.40	1.34
7	3.34	0.30	1.00
8	4.66	1.22	5.69
9	1.97	0.76	1.50
10	4.66	1.25	5.83
11	5.66	2.77	15.68
12	5.66	2.75	15.57
13	5.29	3.28	17.35
14	5.29	2.64	13.97
15	5.86	3.24	18.99
16	5.86	2.26	13.24
17	5.03	2.33	11.72
18	4.75	0.69	3.28
19	3.54	2.19	7.75
20	3.40	0.96	3.26
合計			176.13
1 / 2			88.07
面積			88.07

t=0.35 体積 0.35m × 88.07m²=30.82m³

舗装版破砕工・復旧面積求積図

S=1:200 (A3=1:400)



符号	底辺	高さ	倍面積
1	4.94	2.17	10.72
2	4.94	1.89	9.34
3	6.80	3.50	23.80
4	6.80	2.99	20.33
5	5.32	1.91	10.16
6	5.32	1.92	10.21
7	6.10	2.94	17.93
8	6.10	2.81	17.14
9	5.99	3.22	19.29
10	5.99	2.87	17.19
11	5.57	2.89	16.10
12	5.57	3.14	17.49
13	5.67	2.30	13.04
14	5.67	2.64	14.97
15	5.10	0.96	4.90
16	5.10	1.95	9.95
17	3.36	1.45	4.87
18	3.36	0.69	2.32
合計			239.75
1 / 2			119.88
面積			119.88

舗装版切断工 L=33.8m
発生汚泥処理 33.8 × 0.023 × 0.05=0.04m³

路線名	谷 倉 線 (1号箇所)		工 事 名 (令和7年災林道谷倉線 (1号箇所)災害復旧工事)	
林道区分	森林管理道	級別区分	2 級	設計速度 20 Km/h
年 度	令和7年度		施行主体	藤 枝 市
名 称	取壊しブロック積・舗装版破砕工・復旧面積展開図 6 葉 中 5 番			
施 行 地	藤 枝 市 岡 部 町 玉 取 地 内			
縮 尺	図示 (括弧内A3)	審 査 者		設 計 者

